



# 正光寺だより 69

「正光寺のお寺チャンネル」 住職の法話が聞けます。

ホームページ 「神戸正光寺」 <https://www.shokoji-kobe.com>

「安穩殿」本堂西側。令和6年2月完成。葬儀・法要等にご利用可能です。

## 8月の予定

歎異抄輪読会と瞑想	お休み
お寺ヨガ（椅子ヨガ）	お休み
盂蘭盆会法要	8月14日（水） 13:30～（ライブ配信します）
日曜学校	8月31日（土） 15:00 映画鑑賞・食事会

## ご報告

- ① ご本堂のお佛具、有縁の皆様によって、お磨きをしていただきました。これでお盆を迎えられます。ありがとうございました。
- ② 7月の日曜学校は、毎年アトリエの先生の夏休みの工作です。早く出来て安心だね！



## ご案内

9月22日（日） 13:30 秋期彼岸会法要修了後、正光寺顧問弁護士による「終活に関する問題点を」テーマにご講演いただきます。ご参加ください。

## 蟬蛄（けいこ）春秋を識（知）らず＝お盆に想いを寄せる

盂蘭盆（うらぼん）の月になりました。インドの古代の言葉 ULLMBANA を音写したものです。漢字では倒懸（とうけん）と訳している。逆さまに吊るされる苦しみを受けるとある。お盆は

①先祖が年に一度帰って来る ②墓参り ③盆踊り ④夏休み ⑤ 故郷など、イメージは様々である。しかし、語源はそんな優しい意味ではないようだ。齊明天皇（594～661）の時代、寺院に参ってお経の講義（教え）を僧侶から聞いたともある。中国の中元思想（先祖を尊び敬う）と結びつき拡散し今の日本独特のお盆となったようである。故事（論註）に「蟬蛄春秋を識（知）らず」とある。蟬蛄（けいこ）とはひぐらし蟬（せみ）のことである。蟬は地中に数年眠っていて、地上に現れて一週間から十日の命である。蟬は夏に生まれて夏に死んで行く。春秋を知らない。しかるに、夏が夏であることも知らないの意味である。実はこれは、蟬の事ではないようだ。私（自己）の事だ。何でも知っているような顔をしながら実は自分自身の事が理解できていないようである。私とはいったい何者か？ 今、人生のどこに立っているのか？ 何を拠り所として生きているのか？ 方向性は間違いはないか？ 今、明らかにすることが大切である。禅宗の道元（1200～1253）禅師の言葉に「仏道をなろうということは自己をなろうなり、自己をなろうとは自己をはなるるなり」とある。中々難しいことである。浄土真宗はそのままの教え、唯、阿弥陀如来の願いと働きを信じて念佛申す教えです。

正光寺 078-982-5959